一般質問 町政を問う5人が登壇！

白水 英至 議員 ——— 9P
◆ゴミ処理施設建設の計画は

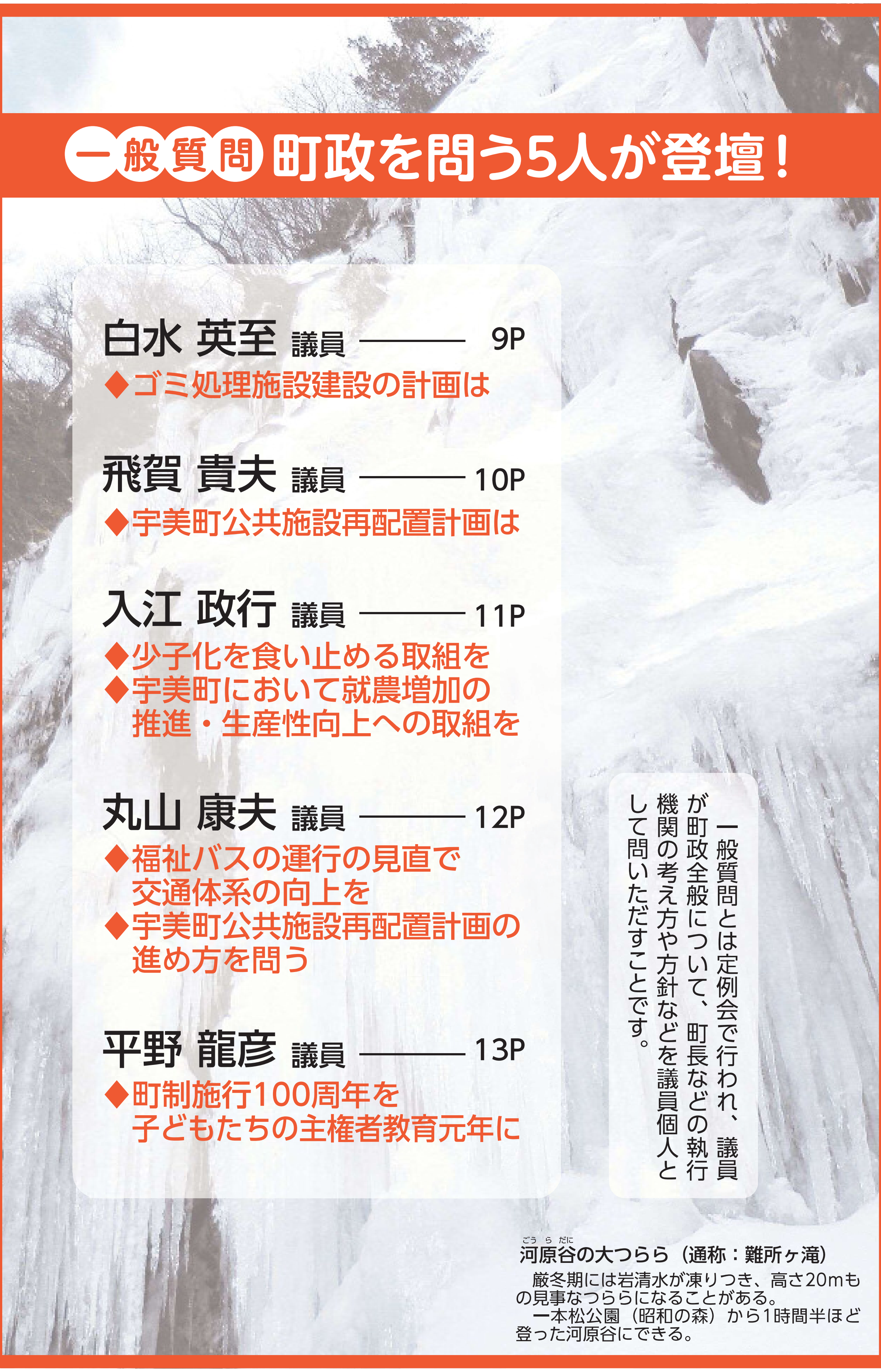
飛賀 貴夫 議員 ——— 10P
◆宇美町公共施設再配置計画は

入江 政行 議員 ——— 11P
◆少子化を食い止める取組を
◆宇美町において就農増加の推進・生産性向上への取組を

丸山 康夫 議員 ——— 12P
◆福祉バスの運行の見直で交通体系の向上を
◆宇美町公共施設再配置計画の進め方を問う

平野 龍彦 議員 ——— 13P
◆町制施行100周年を子どもたちの主権者教育元年に

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを議員個人として問いただすことです。



河原谷の大つらら（通称：難所ヶ滝）
厳冬期には岩清水が凍りつき、高さ20mもの見事なつららになることがある。
一本松公園（昭和の森）から1時間半ほど登った河原谷にできる。

白水 英至 議員

ゴミ処理施設建設の計画は

答 ５町組合の事業推進がベスト

問 家庭から出る可燃ゴミは、篠栗町のクリーンパークわかすぎでRDF固形燃料に加工して、大牟田リサイクル発電所に搬入し燃料としている。
　大牟田リサイクル発電所の稼働計画は、県の指導により令和４年度まで延長となり、クリーンパークわかすぎも地元住民と協議され、令和10年３月まで延長となった。稼働計画終了まで10年を切っているが、今後のゴミ処理計画は。

答 町長　新たにゴミ処理施設を建設するには、最低でも７、８年の事業期間が必要である。クリーンパークわかすぎの稼働計画を考えた場合、次期ゴミ処理施設の整備に着手する必要があると認識している。

問 ゴミ処理施設の必要経費等を考えると、単町や２町で取り組む問題ではない。
　大きな施設は広域的に共同利用、共同運営を考えるべきと思うが。

答 町長　近年の膨大化する行政運営、これに伴う財政確保、新規施設に伴う場所の確保、ランニングコスト、後世への負担軽減等を考えると広域化によるスケールメリットを生かしていく方策が望ましいと考えている。

問 施設の建設には、住民が快く受け入れてくれるものもあるが、ゴミ処理施設のような迷惑施設は拒否される。
　このようなことを考えると時間の余裕はないと思うが。

答 町長　将来的な視点を見据え、須恵町、粕屋町、篠栗町の３町組合と連携し、当町と志免町を含めた５町組合での事業推進がベストだと思う。

問 大牟田リサイクル発電所の稼働終了になると解体の問題が発生すると思うが費用はどうなるのか。

答 環境課長　現在の大牟田リサイクル発電事業は、県内５つの組合で運営されている。
　費用負担総額は、７億1,400万円、そのうち、須恵町外二ケ町清掃施設組合、いわゆる糟屋５町分の負担額が約２億５千万円見込まれ、平成30年度から令和４年度までの５年間で毎年５千万円の積立を行う。

問 クリーンパークわかすぎの運営者は、須恵町外二ケ町清掃施設組合で、須恵町、粕屋町、篠栗町の３町で構成されており、当町と志免町は、３町組合に委託している。
　このため、構成町である３町組合の協議により地元対策費や搬入道路整備費等が決定され、当町と志免町がそれに従うこととなる。
　今後、３町組合と当町と志免町が共同でゴミ処理施設の建設、運営を行うならば、建設計画の協議から５町対等の立場を望むが。

答 町長　３町組合では、令和９年度までのクリーンパークわかすぎ施設稼働延長に伴う地元住民との協定書を取り交わしている。
　このため、協定期限まで５町による組合構成が極めて困難であると思われるが、５町組合として、ゴミ処理施設の運営が行えるようスピード感を持って協議を進めたい。

クリーンパークわかすぎ（RDF化）